

議会だより



毎年「藤まつり」ではこどもたちが描いた雄大な鯉のぼりが来る人を楽しませてくれます。

今回は、こどもたちが鯉のぼりに楽しく描いている様子を取材してきました。

ウロコに
おおきくなった
わたしのかおをかいたよお～
どこに貼ろうかなあ。

平島幼稚園

わあこいのぼりだあ♪なかにいきたいっ！



高洲こども園

僕の手形は
ここだよ



蓮華寺池公園で
のびのび
泳いでね！

岡部聖母幼稚園



岡部のミカンとお茶を
イメージした色でこいのぼりを
作りました。
年中児は手形、年長児は絵具で
星模様を描きました。



「泳げ！みんなの鯉のぼり」事業を実施した
藤枝青年会議所 理事長 徳田航介さん
今年も藤枝青年会議所において、蓮華寺池公
園でのこいのぼり事業を実施いたしました。
元気に空を泳ぐこいのぼりたちが、多くの笑
顔を生んだことと存じます。引き続き、藤枝青
年会議所の事業へのご協力を賜りますよう、
何卒よろしくお願い申し上げます。





地域防災の強化と総合防災の徹底

大規模災害対策課 地域防災課

◆地域防災力強化事業費 ◆静岡県総合防災訓練事業費

各家庭への防災対策の啓発強化と、
企業と連携した支援体制の構築を！

288万円 ➡ 3,570万円
+3,282万円

静岡県・焼津市・藤枝市総合防災訓練に合わせ、市民に向けた防災対策の啓発を強化するとともに、新たな災害時協定の締結など官民連携による防災体制の強化に努める。



食と農アンテナエリア形成

企業立地戦略課

◆食と農アンテナエリア 形成推進事業費

「食と農」のアピールを進め企業誘致の
さらなる促進を！

80万円 ➡ 120万円
+40万円

食農まちづくりコーディネーターの活動日数を増加し、首都圏の企業訪問等がこれまで以上に行える環境に改め、「食と農」に特化した新産業の誘導・誘致を図る。



から予算へ反映

学校ICT環境推進事業の新たな取り組み

教育政策課

◆学校ICT環境整備事業費

ICTを活用し誰一人取り残さない教育環境や
心のケアの充実を！

0円 ➡ 8億3,500万円
+8億3,500万円(新規)

令和7年度中に更新予定である一人一台端末を活用した、登校できない児童生徒への遠隔授業や心の健康を観察できるアプリの導入など、新たな取組を研究する。



2月定例月議会では、令和7年度当初予算を審議し、一般会計666億8,000万円、特別会計312億7,100万円、企業会計346億4,700万円を可決しました。予算編成にあたり市議会の提言が反映された事業をご紹介します。

サッカーのまち藤枝の次代への推進

サッカーのまち推進室

- ◆ ドリームプラン推進事業費
- ◆ eスポーツサッカー大会事業費
- ◆ スポーツフェアドリームサッカー事業費

「レガシー×シビックプライド」に磨きをかけ、サッカーのまちの新たな歴史を！

80万円 → 1,070万円
+990万円

元日本代表選手との記念試合やサッカー教室を開催するほか、ウォーキングサッカーの普及やeスポーツサッカーによる賑わい創出など、次の100年に向けた先駆的な事業を行っている。



スポーツフェアドリームサッカー in藤枝（平成22年開催）

市議会の提言

「地域計画」と併せた低・未利用農地の戦略的有効活用の推進

農林基盤整備課

◆ 農業基盤整備促進事業費

農業者のための基盤整備促進や設備投資を！

4,640万円 → 5,620万円
+980万円

地元や県と連携し、農作業の省力化や生活環境基盤などの向上を図り、農地の基盤整備を推進する。



住まい戦略課

◆ 住宅地創出事業費

移住定住の受け皿となる宅地造成を！

0円 → 400万円
+400万円（新規）

市街化調整区域における土地利用方針に基づき、居住誘導を行う地区について条例制定により新たな住宅用地を創出する。



令和7年1月臨時議会報告

1月10日に、令和7年1月臨時議会が開催され、エネルギーや物価高騰により生活に影響を受ける住民税非課税世帯の方と、定額減税補足給付金に不足が見込まれる方に対して給付金による支援を行うため、令和6年度一般会計補正予算（第1号議案）が上程され、原案のとおり可決されました。

令和7年2月定例会議会の概要 日程：2月17日～3月19日（31日間）

令和7年2月定例会議会で審議した市長提出議案45件、議員発議案2件について、全議案とも原案とおり可決・同意とされました。

市長提出議案（第2号議案～46号議案）

- 予算案件（令和7年度当初予算） 11件
- 予算案件（令和6年度補正予算） 8件
- 条例案件 21件
- その他案件 1件
- 人事案件 4件



※各議案については、市ホームページをご覧ください。

第2号～40号議案

第41号～46号議案



pick up!

「ふじえた陶芸村拠点施設条例」（第30号議案）

文化芸術を活かした農村と都市の交流促進等の取組を推進することで持続可能な中山間地域の形成を図るため、ふじえた陶芸村拠点施設の設置及び管理に関する条例を制定しました。陶芸センターや温泉施設の開館時間、休館日、使用料などを定めています。



建設中の新陶芸センターと道の駅
（藤枝市本郷）

「藤枝市営住宅条例の一部を改正する条例」（第35号議案）

市営住宅の入居手続きに際し、連帯保証人の確保が困難な場合において、家賃債務保証業者の保証により入居できるようにするための改正を行うものです。

議員発議案

発議案第17号 公立の義務教育諸学校の適正な教員数の維持・確保を求める意見書

教員の長時間勤務について一定程度の改善は見られるものの、依然として歯止めがかからない状況にあり、静岡県内においても教員不足による定数未配置の学校が存在します。教員の人材確保は喫緊の課題であることから、国において、公立の義務教育諸学校の適正教員数を維持・確保していくため、下記事項に取り組むよう強く要望するものです。

- 1.校務のDXによる業務効率化や業務内容の見直しを進めるなど、さらなる働き方改革の推進を強力に支援すること
- 2.教職調整額を直ちに引き上げるとともに、時間外勤務を抑制するための法整備を進めること



発議案第18号 藤枝市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例

「刑法等の一部を改正する法律」の施行及び「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の一部が改正されたことに伴う条文の整理など所要の改正を行うものです。

人事案件

次の人事案件について同意しました。

- ◆ 第43号議案 副市長 河野 一行さん（静岡市駿河区）
- ◆ 第44号議案 公平委員会委員 鈴木 史朗さん（茶町三）
- ◆ 第45号議案 固定資産評価審査委員会委員 市川 晃さん（藤岡三）
- ◆ 第46号議案 監査委員 山崎 章二さん（瀬戸新屋）

議員研修会を開催しました ～自殺対策研修会～

実施日：令和7年1月21日（火）

「県障害福祉課」による自殺者の動向と国・県の取組状況の報告、「市健康企画課」の第2次藤枝市自殺対策計画についての説明、「市健康推進課」のゲートキーパー養成講座などを受け自殺予防の正しい知識や取組などについて理解を深めました。



Facebook Instagram 「藤枝市議会」で 議会活動情報を 随時更新しています

藤枝市議会ではホームページ、市議会だよりに加え、議会の情報発信を強化し、より多くの方に議会への関心をもっていただくために随時投稿しています。



Facebook



Instagram



議会は 藤枝市議会 ホームページでも ご覧いただけます

藤枝市議会ホームページでは、本会議のライブ中継と録画放映を行っています。市民生活に直結した重要な問題の審議をぜひご覧ください。



市役所5階で 議会を 傍聴しませんか

市民の生活に直結した重要な問題が審議されます。

議会は、どなたでも傍聴することができます。お気軽にお越しください。市役所5階の傍聴受付で傍聴券を受けとれば傍聴できます。住所、氏名などの記入は不要です。





藤新会
多田 晃
議員



令和7年度の当初予算・組織の概要、重点戦略について

問「予算への意気込みについて」伺う。

答 市政の舵取りに当たって、市長就任以来、最重点課題として位置付けた、財政の健全化と市立総合病院の経営健全化、そしてクリーンセンターの整備については、これまでの着実な推進により、それぞれ一定の目途がついた。これまでの常識や経営手法が通用しなくなるこの大きな転換点に臨むにあたり、市政経営においても「未来に何をにつなげられるか」を常に念頭に、「未来への種まき」となる様々な施策を盛り込む形で予算の編成を進めてきた。希望ある未来を担っていく「人」が、現在そして将来にわたって輝き、幸せを実感できるまちづくりを進めるべく、改めて気を引き締めて全力で市政経営を進めていく。

問「スクラップ・アンド・ビルドに際して、どのような所をスクラップするかについて」伺う。

答 現状における市政経営は、次への成長に向けた施策を構築していく必要がある一方、過大な財政出動を抑制するなど、施策の推進と財政の健全化のバランスがこれまで以上に求められる、大変難しい局面にある。スクラップ・アンド・ビルドについては、「あれもこれも」から「あれかこれか」に転換し、優先順位について厳しい決断を行う。いわゆるマンネリ化している事業や、費用対効果が低い事業など、個々の事業から、将来的な公共施設の統廃合まで、全事業総点検シートを活用した検証などにより、市民目線・市民感覚で事業の取捨選択を行っていく。

問「市立総合病院の経営状況と今後の取組みについて」伺う。

答 診療収益は過去最高額が見込まれますが、一方で、それ以上に人件費や材料費、経費の支出も急激に増えており、増収減益の状況となっております。今後の取り組みについては、収入の大半を占める診療報酬を、物価や賃金の上昇に適応したものに改定することを国に強く要望していくことや、人間ドックやがん検診のさらなる充実、在宅診療や訪問看護の強化、業務見直しによる効率的な運用を図り、費用の抑制などに取り組む、健全な経営基盤の確立を進めていく。

問「病床数の適正化について」伺う。

答 効率的な医療に努めたことで平均在院日数が短縮し、実稼働病床468床と許可病床の564床より少なくとも受入れが出来る状況である。このため、今後早急に、国が進める病床数適正化に係る財政支援の活用に向けた検討とあわせ、現行の空き病床について、市民サービスの向上につながる利活用を検討していく。検討内容としては、全身麻酔患者の口腔ケアや美容医療も考えている。

問「今後の自治会・町内会活動について」伺う。

答 令和3年度より持続可能な地域自治の仕組みづくりにいち早く取り組み、自治会の皆様の負担軽減策について全庁的に検討を重ねている。これまで、広報紙をはじめ、各種配布物の見直しや各種手続きの簡素化などを進めるとともに、河川等の環境保全活動へのラジコン式草刈り機の導入、また、道路や河川、農林関係の要望手続きの簡略化などの取組を行っているところである。社会情勢が変化する中で、仕事をしながらでも地域活動の担い手となれる環境づくりは、本市に限らず全国的にも喫緊の課題であると考えます。そこで今後も、各種委員や会議の在り方の見直しのほか、昨年度に作成した地域の取組事例集の共有や、地域活動の事務の効率化を図るデジタル活用への支援など、市からの依頼業務負担軽減と自治会・町内会における活動の見直しへの支援を並行して、できることは全て取り組み、持続的に地域活動を担うことのできる環境づくりを地域とともに考え、実践していく。



藤のまち未来
岡村好男
議員



『予算の特徴と重点施策の所見』について

問 過去最大の666億8千万円の本予算で、スクラップ&ビルドした見直し事業を伺う。

答 紙の印刷からデータへの転換、広報誌の発行回数の減、はたちの集いや敬老会の見直し等々、一方作り上げる事業は「架け橋期」を接続する取組み、若手音楽家の育成、体育館の空調整備、障害のある方の通所サービスへの交通費の補助等々です。

問 重点施策の、駅前9街区再開発事業と連動して大正大学が設置するインキュベーションセンターについて伺う。

答 大正大学が、来年4月に設置予定の「情報科学部」のサテライト拠点を米国と国内に設置する構想を打ち出し、駅前9街区再開発ビル2階ワンフロア(約250坪)への立地について基本合意したところであり、令和9年6月開設目途としている。



駅前9街区再開発ビル構想図

『総合病院の6年度決算の見通し』について

問 本年度決算と黒字体制について伺う。

答 本年度の決算は他病院と同様極めて厳しい状況にあり現在稼働率の低い病床の集約化、職員の再配置、各診療科の再配置を実施し、中長期的な投資計画も全面的に見直し、黒字体制の構築を図ってまいります。

『部活動の地域展開』について

問 本年8月から原則、地域展開となるが、課題解決に向けての対策を伺う。(見切り発車)。

答 指導者の確保、練習会場、用具の確保等々ありますが、地域部活動推進コーディネーターを中心に各団体と協議して進めます。

『高洲南小学校区に交流センター設置』の要望

問 高洲南小学校区に交流センターの設置は地区の悲願だ。今回新設する大井医院の跡地のコミュニティ施設は交流センターにはなりえません、見解を伺う。

答 来年度整備する、コミュニティ施設の利用状況を踏まえて検討してまいります。

『黒石川・小石川の水害対策』について

問 黒石川、小石川沿いの水害対策について総合的な対策の実現を伺う。

答 黒石川については、護岸の劣化に伴う漏れなど緊急を要する破損箇所は、修復工事を早急に実施し、小石川においては、焼津市で遊水池整備を実施しております。また、令和7年度からは、各戸への雨水貯留浸透施設の設置補助を新たに行なってまいります。



『小川島田幹線の事業推進』について

問 令和7年度に事業着手予定の県道高洲和田線の代替路線が進捗しない理由と解決策を伺う！

答 現在、県の整備区間である焼津市側地区の用地取得に時間を要し、完成までに数年かかる見込みであり、また高洲地区の事業主体が決まらないのも要因です。しかし令和7年度からは、「交通安全対策補助制度」を活用して、事業促進を図ると県から伺っています。



日本共産党
石井通春
議員



障がい者の福祉施設通所の交通費補助及び生活困窮者の居場所づくりについて

問 予算額340万円の障がい者通所支援は交通費が高くて施設に通えないという声に基づく制度か。

答 静鉄バス利用者はバス会社の半額減免と併せ4分の1負担に。JRは距離に関係なく運賃の半額を補助する。

問 予算額160万円で新設する引きこもり成人の居場所は、障がいの有無にかかわらず利用可能か。

答 障がいの有無や年齢に関わらず月曜日から木曜日まで開所。気軽に過ごせ、社会復帰を図る居場所とする。

問 補聴器購入助成制度の限度額が5万円、住民税非課税世帯対象となっているが拡大を。

答 非課税世帯からの拡大を検討し、聴力検査時の制度の周知を行っていく。

予定より30億円以上も増額予算となった新学校給食センター整備事業費について

問 西部北部の各給食センターの老朽化で統合し新設する新学校給食センターの工事費は、2年前50億円と示しておきながら、今予算は80億円。物価人件費高騰だけでは説明のつかない上振れた。

答 労務費や資材費の高騰、フロン排出抑制法の新たな規制などのもとで上昇した。コスト削減に取り組む。

問 50億円の見積作成は、900万円の費用を用いて設計事務所に委託していながら、なぜこれほどの差異が出るのか。大規模事業は、外部に委託することなく職員自らが基本設計を作るべきではないか。私は、2センターを統合し大規模化するか、2センターを存続させるか、地産地消の面からも議論をしてきた。統合に対する現場の調理士の反対の声を紹介したが、統合ありきの市の進め方は、賛成できない。

答 民間会社は専門性がある。事業の節目で担当職員が検証することは大きな役割である。

「地域医療連携推進法人」で何をを目指すのか

問 市立病院の病床削減が可能となる法人化で何をを目指すのか。

答 本制度で病床削減を議論する事はない。

問 市民の願いは2週間で退院ではなく完治まで市立病院にいる事だ。病床削減よりかつて存在した療養病床の復活を。

答 急性期医療を提供する事で数億円の加算を得ている。復活には慎重な議論が必要。

リニア先進坑掘削を進めるJRに対し約束した調査の実施を

問 JRは、県境手前の断層の調査を行う事を県と約束し、5月に山梨側からボーリングを再開したが、調査に失敗。県に報告もせず一方的に県境越えのボーリングを実施し、成果の如く言いふらしたのみならず、直径7mの先進坑掘削を進めている。約束していた調査の実施を求めるべき。

答 計画通り進まなかった原因分析と断層調査を行うようJRに伝えた。

問 流域自治体は水資源に影響が出た際のJRによる補償を求めているが、どうやって補償できるというのか。

答 文書化での補償を求めたもの。工事許可の条件とはならない。

問 3月からJRが説明会を行うが、オープンハウス形式で一方的な内容となりかねないのではないか。

答 JRに都合の良い説明会ならやる必要はない。JRにそうならないよう申し入れ、回答を得ている。説明会をしたからと言って、住民理解が得られた事にはならない。

問 県と流域市町からなる利水団体が一体となって交渉する体制が築かれてきたが、10市町首長とJRが直接・非公開の場で協議を持つことは良くない。

答 重要な案件は公開の場で行うべきと考える。

問 JRが表明した1時間に2本の静岡駅への新幹線ひかり号停車は経済効果があるか。

答 水問題と全く異なる事柄であり、トンネル工事と切り離すべきものである。



公明党
大石保幸
議員



手話言語条例について

問 障がい者福祉への取り組みが進んできている中、聴覚障がいに関する動きとして「手話言語条例」を制定する自治体の広がりが挙げられる。藤枝市でも制定を求めたいが考えを伺う。

答 市では近隣他市町に比べ多くの方が手話通訳者として登録され、「手話奉仕員養成講座」も毎年開催している。手話は言語として位置づけられており社会参加に欠かせない。条例の制定は重要な意義があると考えており、当事者団体などの意見を伺いながら、条例について検討していきたい。

発達支援について

問 「重度障がい児」が主な対象とされた福祉サービス「居宅訪問型児童発達支援」だが、「外出や集団での生活が著しく困難な障がい児もこの対象となり得る」との見解が国から示された。市の対応について伺う。

答 市ではこれまで「居宅訪問型児童発達支援」の給付実績はないが、志太榛原地域内には対応できる事業所が存在するので、支援の対象となる児童がいた場合には本人の状況に沿った発達支援サービスを提供していく。

ローカルSDGsの評価について

問 令和7年度は市の第6次総合計画前期5カ年の最終年度であることから、設定している藤枝市版ローカルSDGsについて進捗状況の評価をするべきと思うがどうか。

答 進捗状況は毎年度、数値目標と併せて評価しているが、令和7年度が前期計画の最終年度となることから5年間を総括しての評価の在り方も検証して公表していきたい。

インクルーシブ遊具について

問 令和7年度の事業に、年齢・性別・障がいの有無に関わらず誰もが利用できる公園整備として、駅南公園にインクルーシブ遊具を先行して設置すると言われているが、今後についての考えを伺う。

答 市では“すべてのこどもに優しいまちづくり”を柱とした「こども基本条例」を他市に先駆けて施行した。都市環境づくりにもこの視点を取り入れ、インクルーシブ遊具の導入を順次進める中、第一弾として駅南公園に設置していく。

サッカー交流と関係人口について

問 「サッカーのまち100年」を過ぎサッカーを通じての交流や関係人口の構築について、次のステージに向けての所見を伺う。

答 スポーツは人々に夢や感動を与えるが「蹴球都市」として新たな価値を生み出し、未来に繋げていくため、誰もがサッカーに触れ、健康づくりに繋がるウォーキングサッカーやeスポーツといった分野への展開を推進し、新しいサッカーのまちづくりに取り組みたい。

防犯対策機器への補助について

問 侵入強盗や特殊詐欺などが多発している現在、犯罪抑止効果のある「録画機能付きドアホン」など、住居における防犯対策機器への購入費補助を検討できないか。

答 防犯カメラやカメラ付インターホンは、犯罪防止の有効なアイテムであると認識している。今後、家庭における防犯対策のさらなる徹底に向け、効果的な施策を検討していく。



犯罪抑止効果のある録画機能付きドアホンの例



一般質問

2月定例会月議会の一般質問は、
2月27日(木)、28日(金)の
2日間にわたり行われました。

- 議員が市の一般事業に対して、執行状況や将来の方針をただしたり、政策的な提言を行います。質問は1議員50分以内です。
- 一般質問コーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。
- 市ホームページで議会録画映像の配信や「会議録の検索」により一般質問など本会議の詳しい内容も、ご覧になれます。



インターネット議会中継

会議録検索システム

なくそう。交通死亡事故を！



藤のまち未来
遠藤久仁雄 議員



生活道路に於ける時速30km走行の市民への呼びかけについて、今後の本市独自の取り組み状況を伺う。

昨年12月に生活道路での速度抑制を呼びかけるのぼり旗を作成し、自治会・町内会への配布を開始した。来年度の取り組みとして、市内33の関係団体で構成する「市交通安全対策協議会」で、生活道路に於ける速度抑制を本市独自の重点目標に掲げ、若者から高齢者まで幅広く啓発活動を行っていく。警察とも協議し予算措置を含め速やかに対応していく。

幼保こ小連携の「架け橋プログラム」について

幼稚園・保育所・こども園で、遊びを通して学んでいるこどもたちは、小学校へ入学すると教科を通しての学習が始まる。近年この時期の教育の重要性が叫ばれているが、行政側として配慮すべき事項について伺う。

こどもたちはこの学びや生活の変化に対し、精神的にも動揺し不安を感じる時期である。これ乗り越え成長していくためには、円滑な接続連携が欠かせない。各園や各小学校の先生方の連携やこども達の交流活動や研修が必要であろう。またこの架け橋期に於いてはコーディネーターを新たにこども課に配置し、カリキュラム作成に於ける助言や相談に応ずるなど、サポートを強化していく。

藤枝市の文化遺産と大旅籠柏屋周辺について



藤新会
数崎 正幸 議員



大旅籠柏屋から岡部支所にかけての旧東海道の舗装の修繕とメンテナンスをお願いしたい。

この道は文化の継承や景観を重視し特殊な舗装をしてあり劣化が進んでいる事も承知している。令和7年度より地元住民を入れ計画を作る。

岡部地区には、10の日本遺産に係る構成文化財があり、その周辺の木和田川砂防堰堤、薦の細道公園等には市内外から多くの観光客が訪れる。こちらでも適切な維持管理をお願いしたい。

市として当然大切な財産であるため、修繕、メンテナンスに努めていく。

市民のための助成金・補助金がわかりにくい

市には多くの助成金や補助金制度があるが、周知が足りずに利用されないものや、情報を早く入手した人だけが利用できて予算額に達してしまような状況である。市民に分かりやすく周知し、利用を促すなどの工夫をお願いしたい。

各種補助金の一覧を広報ふじえだ4月号と一緒に折り込む。また市ホームページでは分かりやすく見やすい補助金一覧をカテゴリー別などに分け公開する。また市の公式LINEでも同様にわかりやすくアクセスできるよう改善する。

議員のひとこと

高度経済成長期から50年以上が経過し、インフラの劣化が著しい。新たに作ることも必要だが、修繕や維持管理こそ最優先で進めてほしい。



藤新会
植田 裕明 議員



歳出増大、当初予算及びこれからの財政運営について

問 歳出増大に対応した財政運営の基本的姿勢。

答 物価高騰や人件費の増高などの影響から、これまでになく厳しいものになるとの認識のもと、全庁的に目下の状況を共有し、各部署自ら全ての事業を総点検した「選択と集中」による事業立案を目指し、予算編成を進めた。

問 これからの財政計画、財政収支見通し。

答 今後、クリーンセンターや新学校給食センターの整備、駅前一丁目の再開発、学校体育館へのエアコン設置など、欠かすことができない重要事業が控えており、基金や有利な起債を活用しつつ、財政規律をもって財政健全化を進めてゆく。

二〇二五年問題と、これからの高齢者施策について

問 二〇二五年問題に対する市当局の見解。

答 「誰ひとり取り残さない」環境を作ることが重要であり、これまで他市に先駆けて地域包括ケアシステムの構築を進めてきた。今後も、先んじて地域の課題の解決に対応できる体制づくりを進めてゆく。

問 高齢者を狙う詐欺被害をどう食い止めるか。

答 通話録音機能付き固定電話機の購入費補助、無人ATMコーナーへの音声による注意喚起機器の設置、市薬剤師会との連携協定に基づく薬剤師からの注意の呼びかけや警察への情報提供等、自治会や警察、関係団体と被害防止に努めてゆく。



公明党
山本 信行 議員



本市の文化財への取り組みについて

問 藤枝市の貴重な資料となる建造物の画像や映像など後世に残していくべきと考えますが見解を伺います。

答 貴重な建造物を画像や映像で記録することは、保存、継承、教育、観光などの面で大きな価値があると考えています。効果的な記録、継承方法の一つであるデジタル活用の導入について検討してまいります。

不登校等
誰一人取り残さない支援について

問 教育委員会と福祉が連携をし、より効果的にSOSの早期発見、早期支援につながるデジタルツールを検討していくとのことだが、どのようなものを想定されているか伺います。

答 小さなSOS等をいち早く察知し、問題が表面化する前から支援に繋がることを、最も重要であると考えております。今後、教育委員会と連携し、議員ご提案のアプリも含め、まずはそのデジタルツールの効果等を精査し導入の検討を行ってまいります。



藤のまち未来
川島美希子 議員



敬老の日記念事業について

問 本年度の地区での式典開催地区と参加人数は。

答 105団体中36団体。参加者は2927人。

問 75歳以上の対象人数は2万7395人、9割は参加しないがその理由は。

答 予定がある方や参加を希望しない方、入院中の方、会場までの移動に支援が必要な方と把握。自治会からの制度の見直しの意見とは。

問 不足分の事業費を支援してほしい、一方で地区敬老会の事業の廃止を含めたあり方を考えるべきとの意見。改めて地域の皆様の声を伺い、自治会町内会の負担軽減を含め検討する。

安全で子どもに喜ばれる
学校給食について

問 食料費高騰で今年度は人気のクリスマスケーキ、雛あられなどがカットされた。季節のお楽しみ献立はこども達のために復活してほしい。

答 デザートを含む食料はこども達の希望に添えるように一層努めたい。

問 身体を作る米の残飯が多いのは、栄養面、食品ロスの観点からも問題と思う。例えばカレー等人気のメニューを増やす工夫が必要では。

答 カレーは月に1回だが、その他カレー味のメニューを増やすことを検討している。

議員のひとこと

成長期の子ども達には給食を残さず食べてほしい。メニューや盛り方を工夫し、食べ残しを減らす事も食育の観点からも大事な教えるの一つです。



無会派
山根 一 議員

一 議員



市役所新庁舎建設について

問 現時点ではどのような計画で進んでいるか。

答 現庁舎は長寿命化で余力はあるものの、行政のスリム化や自然災害、地球温暖化への対応など抜本的な見直しが必要である。現在、若手職員も交えて全国の新庁舎や民間オフィスなどを研究し、多角的に整備構想づくりを進めている。実現可能な構想が出来た段階で市民に示し、意見を伺いながら設計に移行していく。

本市のふるさと納税について

問 下表は本市のふるさと納税の表であるが何を感じるか。

答 ふるさと納税は、市政運営における重要な財源であり、地域産業の大きな活路となっている。本市でも他市への流出額は増加傾向にあり、実質的な収入確保に向け、寄付額の拡大は必須である。

問 今後の方針について。

答 来年度はふるさと創生推進室を創設し、専任体制で財源の安定確保に取り組む。

(単位：億円)

年 度	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
寄附額	4.41	5.50	4.98	5.80	10.34
実質的収入	0.98	2.55	1.91	2.17	4.20
住民税減収額	▲1.62	▲2.08	▲2.87	▲3.50	▲4.07

議員のひとこと

私は、住民税減収額が年々増加し、実質的収入に影響を及ぼしており藤枝市民の他市への寄付額増加で市税減収となっている事実を広報ふじえだやHP等で知って頂けるようお願いしたい。



日本共産党
さとうまりこ 議員



藤枝シティ・トレセン構想について

問 シティ・トレセン構想で宿泊施設建設が検討されているが、スポーツイベントで市内の宿泊施設が足りない状況の実態を伺う。

答 本年度は8回のサッカーの大会時、年間で延べ20日間、市内で宿泊先が不足した。

問 施設は100%民間が建設するものか。

答 民間が、設置・所有・運営する。

問 閑散期や平日の利用を、どう増やすのか。

答 採算が取れるよう民間提案者が検討中。

市民に身近なスポーツ振興を

問 市の調査結果によると、市民が「スポーツする理由」は、「健康と体力の維持」が最多。「できなかつた理由」は、「仕事・家事で多忙」、「金銭的余裕なし」というもの。また、競技ごの実施人数は少なく、サッカーでさえ実施したのは3%程度である。市民が一番多く取り組んでいるスポーツは、ウォーキングである。

故に、スポーツ推進は「市民が主人公」となるよう、日常の運動習慣支援を強化してほしい。

問 全世代がスポーツを楽しむ、健康的に過ごせるよう、生涯スポーツの推進に重点を置く。

議員のひとこと

スポーツを楽しむことは、全ての人の権利。広く、市民全体に届くスポーツ施策を！



藤のまち未来
寺田亜記子 議員



持続可能な介護サービスの維持について

問 本市における介護人材の確保と、持続可能な介護サービスの維持について、現状と対応策は？

答 市内の介護事業所では人材不足が深刻化している。調査では42%の事業所が「人手不足」と回答しており、不足人数は83人に上ります。

問 介護職の待遇改善と若年層の確保について、どのような取組を行っていますか？

答 市では「介護福祉士業務定着事業費・研修費補助金」を設け、1年以上勤務した職員に最大5万円の補助を行っています。また、介護事業所と連携し、マッチング支援やキャリアアップの促進に取り組んでいます。しかし、他産業と比べた賃金上昇率の低さが課題であり、今後も処遇改善が求められます。

問 今後の介護人材確保について、市の方針は？

答 「第9次ふじえた介護・福祉・からん21」において、「介護人材の育成・確保」を重点施策の一つとして掲げています。現在、介護職員の確保と定着を目的に、「藤枝市介護人材確保対策連絡会」と協力し、さまざまな対策を講じています。今後は、介護職の魅力発信、学校における福祉教育の推進、県との連携強化など、総合的な支援を進めていきます。

議員のひとこと

介護の現場は今、厳しい状況です。介護職が誇りを持てる環境をつくり、すべての人が安心して未来を実現するために、今後も現場の声をしっかり届けていきます。



藤のまち未来
八木 勝 議員



「蹴球都市」として 次の十年、百年について

問 今後の市サッカー文化振興の方向性について。

答 サッカー文化の更なる醸成を目指し、より多くの市民がサッカーに親しみ関わる機会を創出するため、老若男女、障がいの有無等に関わらず、サッカーに触れることが出来る、本市ならではの環境を整えていきたい。

問 「蹴球都市」を掲げている本市として、全国大会等に出場するサッカーチーム・団体への遠征支援について。

答 日本サッカー協会から交通費の補助、本市からも出場奨励金を交付している。

問 菊川市では市の予算を使うことなくクラウドファンディング等の支援を行っている。海外でも企業が資金を提供してくれる仕組みや組織があるが、子どもたちへの支援に関して、そういった団体や、仕組みの設置が出来たらと考えるがいかがか。



答 各学校で実施しているクラウドファンディングの周知をサポートするとともに、ふるさと納税を活用した仕組みも検討し、企業が資金提供して子どもたちを支援する仕組みなどについて、まずは国内で事例があるか調査・研究していく。

議員のひとこと

「蹴球都市」として、子どもたちに「夢」と「未来」を。



藤新会
深津 寧子 議員



持続可能な地域発展の方向性について

問 土地利用計画において工業用地化・農業保全・住環境整備の優先順位をどう考えているか？

答 人口減少対策、地域経済の活性化、食の安定供給や良質な景観形成のため、農地の保全と都市的土地利用のバランスを重視している。策定中の地域計画に基づき、営農エリアと都市的土地利用エリアを明確化する方針である。

問 「食と農」「健康と医療」を活かした産業振興の具体策は？

答 エコノミックガーデニングの理念に基づき、農商工連携や六次産業化を推進。新たなビジネスを生み出す「ふじえだイノベーションスタジアム」を通じて、企業の新規事業展開や販路拡大を支援している。

問 気候変動や社会変化を見据えた持続可能な農業をはじめとした産業の発展の将来的方向性をどのように考えているか？

答 環境に配慮した持続可能な農業を推進するため、オーガニックのまち推進室を設置し、有機農業の拡大や販路開拓を支援する。また、健康生活産業を推進し、県の関連プロジェクトと連携しながら、新たな産業創出に取り組む。

議員のひとこと

バランスを取るだけでなく、何を優先すべきかが重要です。持続可能な農業と産業の発展を見据え、関係自治体との連携強化や将来的な行政のあり方についても議論を深め、実効性のある施策を進めていく必要があります。



藤新会
山川 智己 議員



共生社会のさらなる推進について

問 情報の伝達やコミュニケーションに障害がある方に対する本市の取り組みや考えは？

答 障害のある方の社会参画をさらに活性化し、活躍していただくためには、手話や音声言語などのコミュニケーション手段に対する理解の促進や普及、手話人材の育成・確保が必要である。手話言語も含め障害の特性に応じた多様なコミュニケーション手段を包括した条例は、全ての市民の障害への理解促進や、障害の有無に関わらず等しく情報を取得し、相互に意思疎通を図るために有効であると考えてるので、当事者団体や関係団体の皆さまのご意見をしっかりと伺いながら制定していく。

藤枝市の伝説・童話について

問 後世に伝えるための市が担う役割・考え方は？

答 かつて発行された書籍は年代が古く、保存・継承が課題となっており、デジタル技術駆使した保存と活用方法を工夫していきたい。次代を担う子どもたちに語り継ぐことで郷土愛の醸成と世代間の交流を生み出し、地域コミュニティの強化にもつながられるなど、関係機関や団体と連携しながら支援、育成策を検討していく。

議員のひとこと

共生社会の推進は、当事者の方々や関係する団体の意見・考えが何より大切であります。意見交換等のプロセスを重視して前に進めていたきたいと思います。

行政視察報告

総務委員会

令和7年1月16日 兵庫県西宮市

内容 スポーツを核とした甲子園地域の活性化について

令和元年10月に「スポーツを核とした甲子園エリア活性化推進協議会」を設置し、年間を通じてスポーツやアウトドアを楽しめる環境の創出に官民連携して取り組んでおり、甲子園エリアの交流人口増加と地域活性化を図っている。



西宮市行政視察のようす

令和7年1月17日 岐阜県各務原市

内容 新庁舎建設事業について

「市民の安全・安心な暮らしを支え みんなにやさしい庁舎」をコンセプトに、「市民に親しまれる」、「機能的・効率的」、「誰もが利用しやすい」、「防災拠点の機能が果たせる」、「経済性に配慮した環境にやさしい」など、さまざまな工夫が凝らされている庁舎建設までの取組を学んだ。

建設経済環境委員会

令和7年1月16日 兵庫県芦屋市

内容 無電柱化の推進について

芦屋市では「防災・安全・景観の向上」を目的として、地域の特徴に応じた方針で無電柱化を推進している。令和6年4月時点の無電柱化率は15.5%であり、全国的に高いレベルである。無電柱化には整備コストや事業期間の長期化が大きな課題であるが、芦屋市の取組は都市のブランド力向上や防災力強化の観点から非常に先進的であり参考となった。



芦屋市行政視察のようす

令和7年1月17日 愛知県豊田市

内容 衛星画像とAIを活用した漏水対策について

豊田市では人工衛星データから水の成分を分析し、優先的に調査すべき水道管の漏水エリアを特定したり、将来の水道管の破損確率をAI解析により「見える化」。水道DX技術を活用することで、職員の減少・高齢化、人口減少による水道料金の減収といった水道管の維持・管理をめぐる課題に対して、効率的かつ効果的に安全で安心な水の供給を目指している。

健康福祉教育委員会

令和7年1月16日 滋賀県彦根市

内容 「アクティブラーニング教室」の整備、活用について

市立小中学校のコンピュータ教室を、小学校では、「1人1台学習者端末をより活用できる多目的な教室」、中学校では、「学習者用端末では動作が困難な高度なプログラミング教材を活用できる教室」をコンセプトに、「アクティブラーニング教室」として再整備した。この整備により、創造的な発想で課題を解決できる子どもの育成を進めている。



彦根市行政視察のようす

令和7年1月17日 大阪府八尾市

内容 「いじめ報告・相談アプリ」について

市立学校児童・生徒に貸与しているGIGA 端末等に「いじめ報告相談アプリ」をインストールし、1人1台端末で使用について説明する授業も行う。いじめの報告・相談には、「こども・いじめ何でも相談課」の臨床心理士及び教諭経験者などが直接相談を受ける体制をとって、より多くのこどもの声を拾い、いじめ問題の早期発見、早期対応をすすめている。

広報広聴委員会

令和7年1月29日 神奈川県開成町

内容 議会だよりの刷新、議会動画について

「読む」から「見る＝魅せる」をモットーに議会広報の改革に取り組み、議会だよりは斬新かつ凝縮された紙面になるようタブロイド判に変更。ウェブサイトはインパクトのあるトップページから2クリックで得たい情報にたどり着く議会独自のサイトを開設したほか、短い動画を多様に制作し、YouTubeチャンネルとリンクさせて配信している。



開成町行政視察のようす

令和7年1月30日 茨城県取手市

内容 議会だよりについて、意見交換会及びSNSでの情報発信について

令和2年度より議会だよりをWEB主体に切り替え、議決結果等のみ掲載した紙版を市内各所へ配置や希望する市民へ郵送し、WEB版の議会だよりにAIによる一般質問の要約等を掲載している。中学校を訪問してのグループワークを行っているほか、複数のSNSの役割分担を明確にして、それぞれを結び付けて情報発信している。

『部活動の地域展開』をテーマに 議会タウンミーティングを開催！

中学生の部活動の地域展開をテーマにした議会タウンミーティングを開催しました。議員から部活動の地域展開の状況についての説明を行った後、議員と参加者との意見交換を行い、地域展開を進める上での課題などについて率直な声をいただきました。

いただいた貴重なご意見は、報告書にまとめた上で担当課へ報告しました。さらに、健康福祉教育委員会より課題への対応について、今後も担当課から報告を求めていくこととなりました。

- ・令和7年2月3日(月)18時30分～20時00分
- ・生涯学習センター
- ・参加者:18名(保護者、中学生、教員、競技関係者等)



- ・セントラル方式の場合、練習場所へ行く送迎の問題が保護者としては気がかり。
- ・用具、遠征、大会出場等に費用がかかる。指導者への対価はどうか？
- ・子どもたちが学校を越えた仲間ができたり、やりたい競技をやれる良い環境になってほしい。

参加者の感想（アンケートからの抜粋）

- ・短時間ですが、多種目の話が聞けて良かったです。議会から本日の声を市に届けてください。
- ・課題が多い内容ですが、子どもが選択できたり、人生のみのりとなる時間が過ごせるシステムになってもらえることを望みます。
- ・今回のことをぜひ報告していただき、子ども、保護者、教師、地域の方が満足できる形が決まると思います。

6 月市議会定例月議会

6 月定例月議会は、6 月2日から6月25日までの24日間で開かれる予定です。

6 月 2 日 本会議 1 日目(☆)
議案上程等
10 日 本会議 2 日目(☆)
一般質問
11 日 本会議 3 日目(☆)
一般質問
12 日 本会議 4 日目(☆)
一般質問・議案質疑等

13 日 現地審査
16 日 常任委員会
17 日 常任委員会
25 日 本会議 5 日目・採決等(☆)

☆藤枝市議会ホームページでも
ご覧いただけます。



常任委員会審査レポート ピックアップ!

総務委員会

第12号議案 令和6年度藤枝市一般会計補正予算(第7号) 新婚生活サポート事業費

他市と比較し、独自の上乗せを実施している本事業の認知が進み、当初の想定を上回る50件の補助が見込まれていることから、増額補正を行うもの。本事業が活用され、市外からの転入者増加につながっている点などを確認し、委員会として可決すべきものと決定しました。

本会議
可決



健康福祉教育委員会

現地調査

「ICTを活用した授業について」 (青島北小学校)

GIGAスクール構想により整備された1人1台端末の活用状況について校長より説明を受けた後、6年生の授業の様子を見学し、調査してきました。

建設経済環境委員会

第40号議案 市道路線の認定について

岡部町内谷地区の工業用地内における「内谷地区工業用地造成事業」に伴い、焼津岡部線及び三輪立花線交差部からの道路を新設するにあたり、市道としての位置付けが必要となるため、現地を確認。その他の路線を含めた新規市道の認定について、委員会として可決すべきものと決定しました。

本会議
可決

